

10の要素とそれぞれの解説と修飾先

10の要素

1. イントロ
2. ワイユー (Why Now)
3. シーシズ
4. ネセ
5. ハーム
6. コーズ
7. ソリューション
8. ハウ (ワーカ、プラカ)
9. メリット
10. アイディアル

●**イントロ** スピーチ集 100 冊。大学 2 年生の時、大会で結果が出ない僕は部室にあった宝の地図を読み漁りました。

イントロは GE や PE を使って、比喻を使ったり、韻を踏んでみたり、衝撃的な内容にしてみたり、できるだけキラびやかに面白く、感情を掻き立てるような工夫をしよう！(Thesis を導く)

●**ワイユー** その中で自分が気づいたのはオープン大会に出るようなスピーカーが共通して入れている、スピーチに必要な要素は PREP や PHCS などの 4 要素だけじゃない！ってことでした。

ワイユーはイントロから自分が強く感じたこと、気づいたこと、こうしたいと思ったこと、学んだこと のこと！自分の強い意志。そこにオリジナリティが産まれる。(Thesis を導く)

●**シーシズ** 皆さんがオープン大会で賞を取れるように、今日は 10 の要素を使いこなすことの大切さについてお伝えします。将来的に素敵な後輩をたくさん輩出できる素敵な先輩になってほしいです。

シーシズはワイユーでイントロから抽出したみんなに伝えたいみんなへのメッセージを過去、現在、未来の時間軸で伝えてあげると伝わりやすい。クロノロジカルオーダー。(Thesis 本体)

● **ネセシティー** 10の要素は自分がスピーチを作る時だけでなく自分の後輩に教えるときやエクステンポをやるときにもすごく大切になるのでできるだけ早く習得しよう！

ネセは Why Now。なぜ今そのスピーチを聴くことがみんなにとってそんなにも大事なのか？を言っ
てあげる。緊急性や重要性を提示するパート。それを明示するために大事なのはターゲットを考えて
あげるといこと。聞き手、オーディエンスはどんな人なのか？それを考えてあげる。あなたは大学
生？日本人？ESSに所属している？その人が一番関心を持てるようにそのスピーチの必要性を語っ
てあげる。(Thesis によって導かれる)

● **ハーム(プロブレム)** 10の要素を知らない状態で4要素だけで書くと800語のスピーチの
場合1要素あたり200wordsも書かなければいけない

ハームやプロブレムではその問題がいかに深刻なのかを数字やデータを使って明示してあげる。
(Thesis によって導かれる)

● **コース** 先輩たちである自分たちが10の要素があると後輩に伝えていない

コースはジャッジさんが最も重視する内容。プレストの集大成がここにあるから。本質、根本、自分
なりに行きついた答えがどこにあるのか？そこにオリジナリティが出てくる。「あ！この人はこの人
の人生でこの問題についてそういう答えを出すのか。面白いな。」って思ってもらうパート。だから
誰かが言ったことやどこかで読んだことだけを入れてはいけない。(Thesis によって導かれる)

● **ソリューション** 先輩たちである自分たちが10の要素があると後輩に伝えてあげればいい

ソリューションが一番簡単。コースの真逆を言ってあげればいい。しかしそこがブレてはいけない。
真逆なのか？それが大切。よいソリューションを出すにはよいコースが必要。(Thesis によって導か
れる)

● **ハウ** 10の要素を解説しているスピセクの部屋を後輩におすすめしよう！誰でも手のひらの
上で暇な時間にスピーチを1人で学べる 今までオープンで賞を取った方が利用してくれたことがあ
りました。自分はこの方法でオープンで賞を取ることができました。

ハウはソリューションの具体策。具体化。ジャッジさんがコースの次に見るところ。ハウの中で見ら
れるポイントはそのハウに実効性と実行性があるか。言い換えるとワーカビリティとプラクティカビ
リティがあるか。そのハウがどれだけやるのが簡単で、どれだけの効果があるのかをデータや例を用
いて説明してあげるところ。そのために場合によってはステップを踏んで段階的な提示を試みたり、
やる人とやられる人の双方の目線からできることの提示をしてあげる。(Thesis によって導かれる)

●**メリット** スピセクの部屋を使うと後輩のスピーチ上達にもつながるし、自分のスピーチ上達にもつながる

メリットはハウをみんなが実際に行動に移してもらえるように最後の一押しをしてあげるパート。実行性や実効性を説明しただけでは動いてくれない人たちもいるので、そういう人も絶対にやりたい！と思ってもらえるよう行動をした人にどんないいことが待っているのかを明示してあげる。
(Howによって導かれる)

●**アイディアル** もしスピーチで困ってしまったときは1日1回スピセクの部屋を見てみよう！10の要素を使ってまずはオープン大会で賞を取ろう！そして素敵な後輩をたくさん輩出していく素敵な先輩になろう。

アイディアルシチュエーション。理想の状態。とは理想を情景描写してあげること。When, If, Once, at least を意識すると情景描写しやすい。聞き手がハウを実際の場所でどんな状況でどんな風に行えばいいのか？その状況を情景描写することによってイメージを沸かせる。そしてそれを行うことによってシーズで公約した内容を実現できるよ！と言って最初に戻る。そうすることでスピーチ全体に一貫性のあるコンクルで締めくくることができる。(Howによって導かれる)

【修飾先の関係性】

イントロ～ハウまでは全てシーズに修飾する。
ハウ～アイディアルまではハウに修飾する。

全てのスピーチは シーズをどうやってハウで実行するか。という流れになっている。
だから全ての要素はこの2つ要素の中にあるキーワードのどちらかに修飾していないといけない。
今回のスピーチの場合 シーズのキーワードは**10の要素**、ハウのキーワードは**スピセクの部屋**

イントロから学んだことがワイユであり、それがシーズである。

シーズから派生するネセ、ハーム、コース、ソリューション、ハウがある。

そしてハウを実行するメリット、ハウを行った場合の実際の情景描写であるアイディアルがある。

修飾関係を間違えると一貫性のないスピーチが産まれる。
例えば、ハームに対するコースを言ってしまうていないか？あるいはシーズに対するメリットになっていないか？